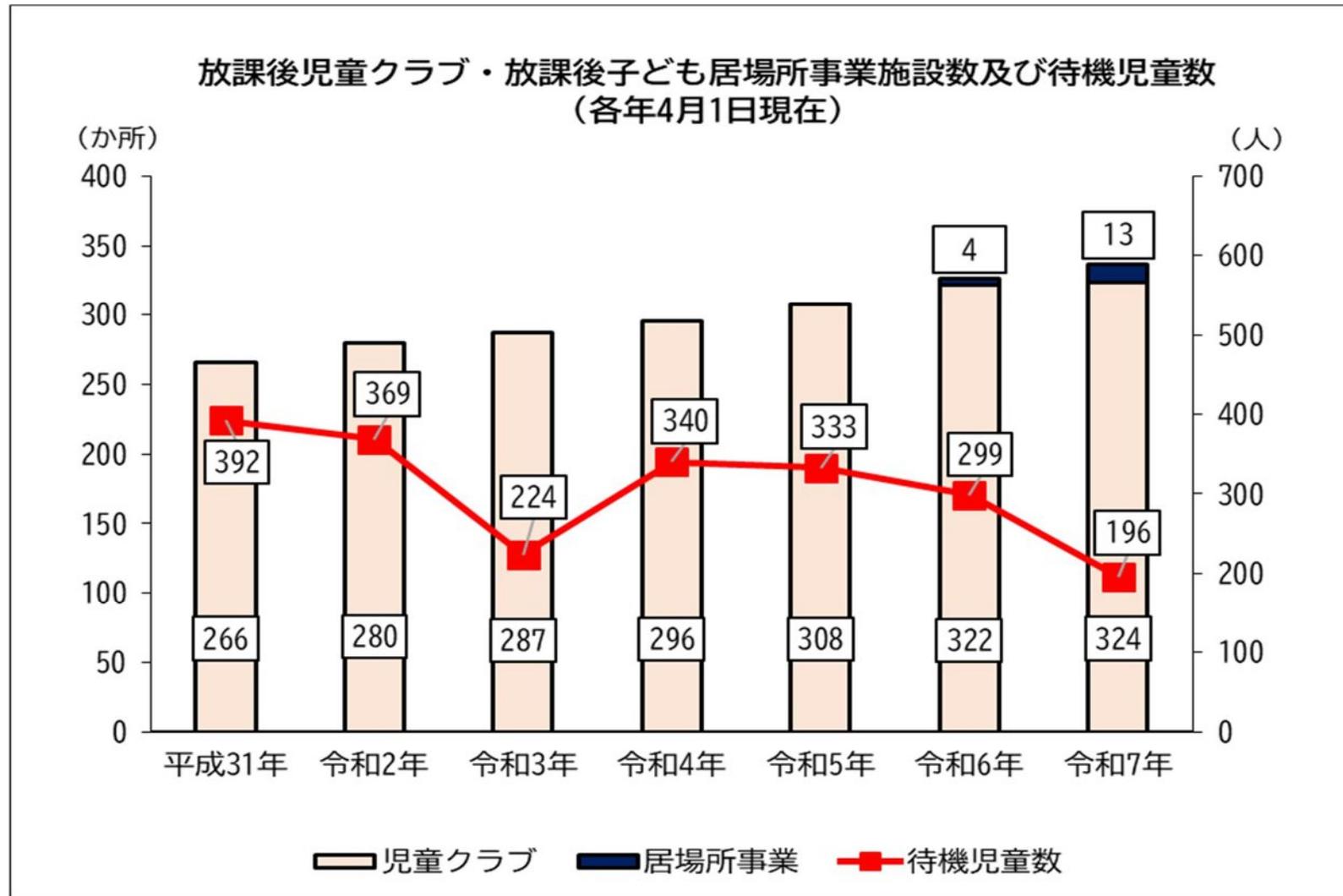


さいたま市放課後子ども居場所事業 について

令和7年8月6日

さいたま市 子ども未来局
子育て未来部 放課後児童課

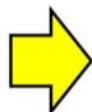
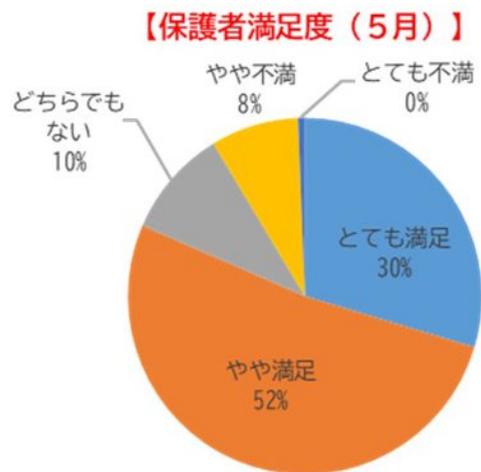
1 本市における待機児童数の推移



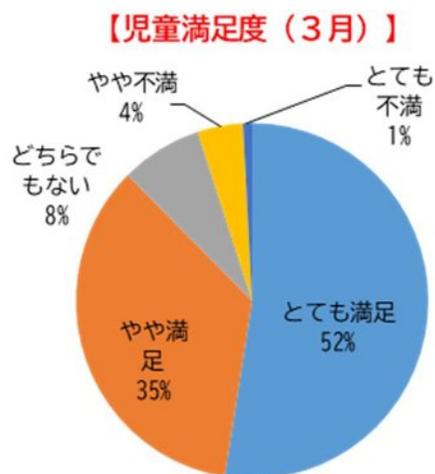
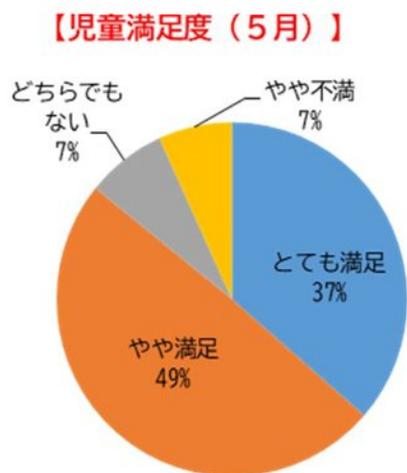
- 令和7年4月1日現在の待機児童数は196人であり、昨年度の299人から103人減少した。
- 要因としては、令和7年4月1日から放課後子ども居場所事業のモデル事業を9校追加し、13校での実施となったことや、令和6年度中（令和6年4月2日から令和7年4月1日開設分）に民設放課後児童クラブを15か所整備したことが考えられる。

2 放課後子ども居場所事業 令和6年度モデル校の実施状況

利用者アンケート① 年度中に4回のアンケートを実施。「満足度」の結果（5月と3月を比較）は以下のとおり。



- ・「とても満足」が25ポイント増
- ・「とても満足」「やや満足」の合計が5ポイント増
- ・「やや不満」が6ポイント減



- ・「とても満足」が15ポイント増
- ・「とても満足」「やや満足」の合計が1ポイント増
- ・「やや不満」が3ポイント減

● 「保護者満足度」「児童満足度」は5月と比較し、どちらも向上した。

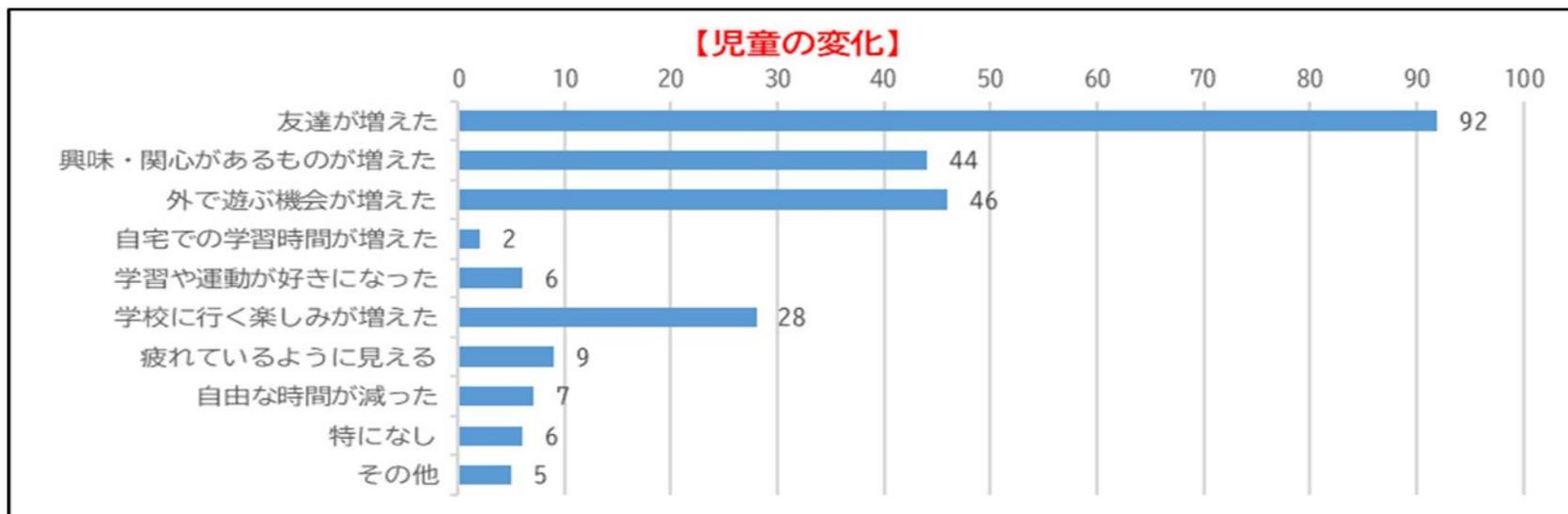
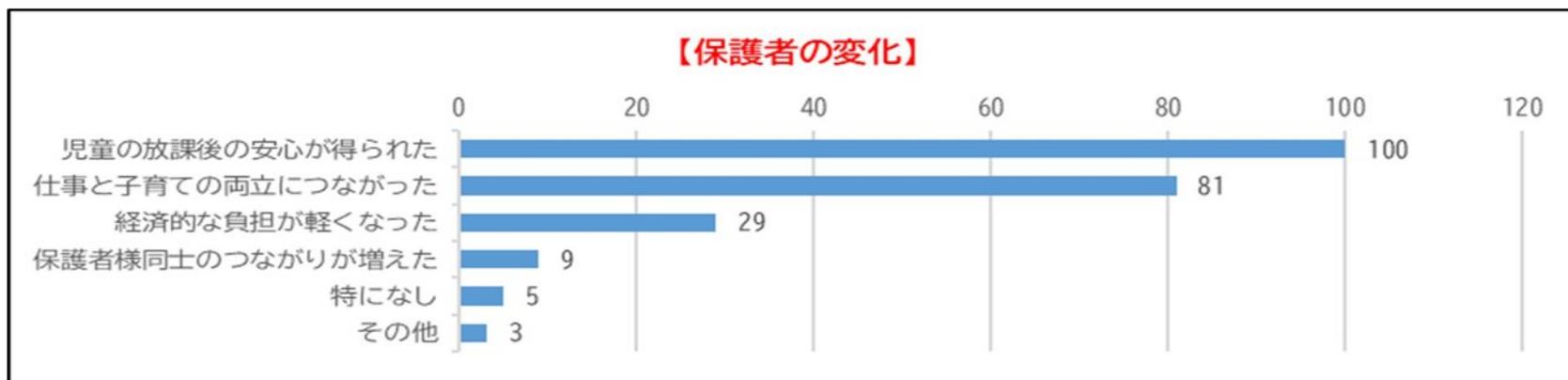
2 放課後子ども居場所事業 令和6年度モデル校の実施状況

利用者アンケート②

3月に実施したアンケートの結果は以下のとおり。

利用による変化

(単位：人)



- 保護者の変化は「児童の放課後の安心が得られた」が最も高く、「仕事と子育ての両立につながった」、「経済的な負担が軽くなった」という順になった。
- 児童の変化は「友達が増えた」が最も高く、「外で遊ぶ機会が増えた」、「興味・関心があるものが増えた」という順になった。

3 放課後子ども居場所事業 令和7年度モデル校の実施状況

令和6年度からの実施校（4校）

開始年度	学校 (所在区)	全児童数 ①	登録児童数 ② (②/①)		利用児童数 ⑤ (⑤/②)			学区内民設クラブ クラブ数/入室児童数	
			利用区分1 ③ (③/②)	利用区分2 ④ (④/②)	利用区分1 ⑥ (⑥/⑤)	利用区分2 ⑦ (⑦/⑤)			
R6	栄小 (西区)	628人	140人 (22.3%)	56人 (40.0%)	84人 (60.0%)	93人 (66.4%)	32人 (34.4%)	61人 (65.6%)	R6.4.1 1か所/48人 R7.4.1 1か所/47人
	鈴谷小 (中央区)	552人	166人 (30.1%)	62人 (37.3%)	104人 (62.7%)	106人 (63.9%)	35人 (33.0%)	71人 (67.0%)	R6.4.1 2か所/37人 R7.4.1 2か所/33人
	岸町小 (浦和区)	738人	158人 (21.4%)	67人 (42.4%)	91人 (57.6%)	91人 (57.6%)	27人 (29.7%)	64人 (70.3%)	R6.4.1 1か所/39人 R7.4.1 1か所/39人
	新和小 (岩槻区)	267人	105人 (39.3%)	60人 (57.1%)	45人 (42.9%)	76人 (72.4%)	40人 (52.6%)	36人 (47.4%)	—

※全児童数はR7.4.4時点、登録児童数はR7.4.1時点、利用児童数はR7.4.30時点の平日平均

- 令和6年度から4校でモデル事業を開始し、令和7年度からは9校追加して13校でモデル事業を実施。
- 令和6年度から実施している4校では、全ての小学校において令和6年4月時点より登録児童数が増加。
- 学区内の民設クラブの入室児童数は、令和6年4月時点と比較して微減または横ばい。

3 放課後子ども居場所事業 令和7年度モデル校の実施状況

令和7年度からの実施校（9校）

開始年度	学校 (所在区)	全児童数 ①	登録児童数 ② (②/①)	利用区分		利用児童数 ⑤ (⑤/②)	利用区分		学区内民設クラブ クラブ数/入室児童数
				利用区分1 ③ (③/②)	利用区分2 ④ (④/②)		利用区分1 ⑥ (⑥/⑤)	利用区分2 ⑦ (⑦/⑤)	
R7	七里小 (見沼区)	327人	74人 (22.6%)	35人 (47.3%)	39人 (52.7%)	51人 (68.9%)	21人 (41.2%)	30人 (58.8%)	—
	与野本町小 (中央区)	544人	149人 (27.4%)	59人 (39.6%)	90人 (60.4%)	102人 (68.5%)	32人 (31.4%)	70人 (68.6%)	R6.4.1 2か所/54人 R7.4.1 2か所/21人
	常盤小 (浦和区)	1,112人	202人 (18.2%)	98人 (48.5%)	104人 (51.5%)	113人 (55.9%)	41人 (36.3%)	72人 (63.7%)	R6.4.1 4か所/160人 R7.4.1 4か所/113人
	針ヶ谷小 (浦和区)	647人	154人 (23.8%)	69人 (44.8%)	85人 (55.2%)	105人 (68.2%)	39人 (37.1%)	66人 (62.9%)	R6.4.1 2か所/72人 R7.4.1 2か所/36人
	大谷場東小 (南区)	597人	143人 (24.0%)	52人 (36.4%)	91人 (63.6%)	95人 (66.4%)	27人 (28.4%)	68人 (71.6%)	R6.4.1 1か所/46人 R7.4.1 1か所/36人
	中尾小 (緑区)	779人	139人 (17.8%)	40人 (28.8%)	99人 (71.2%)	97人 (69.8%)	21人 (21.6%)	76人 (78.4%)	R6.4.1 1か所/23人 R7.4.1 1か所/22人
	道祖土小 (緑区)	988人	143人 (14.5%)	57人 (39.9%)	86人 (60.1%)	87人 (60.8%)	27人 (31.0%)	60人 (69.0%)	R6.4.1 3か所/104人 R7.4.1 3か所/90人
	尾間木小 (緑区)	999人	204人 (20.4%)	81人 (39.7%)	123人 (60.3%)	127人 (62.3%)	45人 (35.4%)	82人 (64.6%)	R6.4.1 5か所/159人 R7.4.1 2か所/45人
	上里小 (岩槻区)	355人	91人 (25.6%)	39人 (42.9%)	52人 (57.1%)	66人 (72.5%)	25人 (37.9%)	41人 (62.1%)	R6.4.1 1か所/46人 R7.4.1 1か所/23人

※全児童数はR7.4.4時点、登録児童数はR7.4.1時点、利用児童数はR7.4.30時点の平日平均

- 学校によって登録率や利用率に差が生じている。
- 学区内の民設クラブの入室児童数は、令和6年4月時点と比較して大きく減少。
また、尾間木小学校区の民設クラブは、5クラブから2クラブに統合。
- 現在、放課後子ども居場所事業により影響を受けた民設クラブへの支援策を検討中。

4 放課後子ども居場所事業 令和8年度導入候補校（案）

- 令和8年度からの本格実施を見据え、待機児童の生じている学区もしくは待機児童が生じることが見込まれる学区、クラブ運営に係る保護者負担の軽減が期待される等の中から追加実施候補校を選定。

学校 (所在区)	児童数※1	公設入室 児童数 ※1	民設入室 児童数 ※1	待機児童 見込数 ※2	学区内民設クラブ	
						保護者会
植竹小 (北区)	751 人	43 人	116 人	46 人	2 か所	1 か所
芝川小 (大宮区)	751 人	—	80 人	—	2 か所	2 か所
大砂土東小 (見沼区)	1,097 人	—	159 人	—	4 か所	3 か所
大和田小 (見沼区)	—	—	—	—	—	—
神田小 (桜区)	398 人	50 人	36 人	32 人	1 か所	0 か所
大久保小 (桜区)	210 人	54 人	—	16 人	—	—
上木崎小 (浦和区)	776 人	54 人	97 人	70 人	3 か所	3 か所
本太小 (浦和区)	909 人	56 人	168 人	39 人	4 か所	4 か所
文蔵小 (南区)	650 人	55 人	119 人	14 人	3 か所	0 か所
三室小 (緑区)	899 人	69 人	101 人	18 人	2 か所	1 か所
大門小 (緑区)	765 人	90 人	43 人	43 人	1 か所	0 か所
西原小 (岩槻区)	460 人	70 人	21 人	0 人	2 か所	0 か所

※1 児童数はR7.4.4時点。入室児童数、クラブ数はR7.4.1時点。

※2 待機児童見込数はR6年度に作成した需要推計を基に算出したR8.4.1時点の想定。